



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe
〒350-0046 川越市菅原町7-16

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 21-5

11月号

発行 2019年11月5日

Chartered 1998

クラブ会長主題 「20周年を次の20年へ!!」
 国際会長主題 “Building Today for a Better Tomorrow”
 「より良い明日のために今日を築く」
 アジア太平洋地域会長主題 “Action” 「アクション」
 東日本区理事主題 「勇気ある変革、愛ある行動！」
 “Innovation with courage, action with heart!”
 関東東部部長主題 「紡ぐ ワイズのこころ」

会長 吉野 勝三郎
 副会長 松川 厚子
 会計 山崎 純子
 書記 利根川 太郎

11月の聖書

イエスは言われた。私は復活であり、命である。私を信じる者は、死んでも生きる。生きていてわたしを信じるだれも、決して死ぬことはない。
 (ヨハネによる福音書 11章 25・26節)

Jesus said to her, “I am the resurrection and the life. He who believes in me will live, even though he dies; and whoever lives and believes in me will never die.”
 (John 11:25-26)

2019年10月の統計 (10月19日)

在籍10名 出席者8名

出席率 80%

AYC報告者；横川蓮菜さん

生川美樹さん、中島久吉さん、佐藤節子さん(厚木クラブ) ゲスト参加



2019年 11月 例会予告

日時：11月30日(土) 午後15:00～18:00
 場所：エルミタージュ
 プログラム 埼玉3クラブ合同例会・懇親会

I 合同例会

1. 卓話

演題「フードバンクの働きと子ども食堂(仮)」

黒田和代氏(NPO法人フードバンクネット西埼玉理事)

2. APAY大会参加報告

富井佳織さん(埼玉YMCAボランティアリーダー)

3. 生川美樹さん入会式

4. 部長講評

II 懇親会

10月例会報告

利根川 太郎

1. 開会点鐘

2. ワイズソング「いざ立て」斉唱

3. ワイズの信条

4. ゲスト紹介

中島久吉さん(坂戸市在住)

・佐藤節子ワイズから紹介

・レクリエーションインストラクター、余暇開発士の資格を持ち、全国のレクリエーション大会で活躍されている。また、障害者スポーツの

資格も有していて、ユニバーサルスポーツの分野でも活躍している。

5. AYC 報告

横川蓮菜さん 川越クラブがスポンサークラブで参加

「AYC 参加報告」

「命を救うのは山じゃなくて判断と行動」
これは宮城の震災を語り継ぐ語り部さんの言葉です。

誰にでも降りかかりうる災害。絶望的な状況で子供たちは死んだのではない。守ることができた、しかし守ることができなかった命。大川小学校に津波が到達するまで 51 分、避難し始めたのはわずか津波が襲う 1 分前。悔しい、みんな悔しかったんだ。語り部さんは語りました。

救うことができない、必然的に見える問題、例えば貧困など実は事態を変えることはできないのではない。考え、判断を下し、行動に移すと救うことができる命はあるのではないかと考えさせられました。

私の日常でも一つ違う判断をただで、現在は変わってくる。

このアジア大会に行くという判断は非常に大きな意味を持っていたと振り返りながら思います。

ここで過ごした四泊五日は、大きく自分の意識を変えました。日本と台湾からきた同年代の人、世界各国からやってきた大人の人、そして震災を経験し、語り継ぐ人。こうした場がなければ出会わなかった人たちと話すことは楽しかったですが、自分自身を改める機会ともなりました。

台湾の同年代には驚かされました。最後の夜は明け方まで何人かの人と話をしていましたが、台湾のことを聞いたとき彼は 400 年前の歴史から今の台湾の状況を教えてくれました。彼らからは台湾は自分たちが社会を形成しているという意識があることが伝わってきました。

二日目ではバーベキューを各国からやってきた Y's の方々と一緒にグリルを囲んで話し、私は韓国からやってきた夫妻と同じグループになり話す機会がありました。そこで、韓国のことを知りたいと思い、韓国の今の若者たちは日本に対してどう思っているのか、慰安婦問題についても聞かせてもらいました。しかし、「あなたはどう思うの？」と聞かれて、分からないとしか答えることができませんでした。

痛感したのは日本社会の一部に自分がいることの自覚のなさ、知識のなさでした。自分も社会の一部であることを感じたことは恥ずかしながら今まででなかったため、社会の話を韓国の方としていても、他人事のように

わからないとしか答えられなかったのだと思いました。

仙台から帰ってきてちょうど今日で一週間が経ちました。私は今、日本の社会に関する本を読むというささやかなことから日本をもっと知ろうと思い、ようやく一冊読み終えたところでした。一日一冊と意気込んでいたがそう上手くはいきませんでした。しかし、次このように様々な国の人と話すことができる時、今回の話せなかった悔しさをばねに、今度こそもっと話ができるように学んでいきたいと強く思います。

私がこの APC に参加するきっかけは国際協力をしたい、台湾大学に進学することを考えていることを Y's の方に話したことでした。この動機を踏まえても非常に濃密で有意義な時だったと思います。

来週、私は台湾に大学を見に行くのだが、台湾大学に通う大学生にここで出会い案内をしてもらうことになり、さらにここで知り合えた子とも再会する約束をしました。この大学生もシリア難民の教育について将来携わりたいと勉強している最中で、国際を考えるならと進学の相談にも乗ってくれました。自分の世界が少しずつ開けてきたように感じます。

こうして、ここにこれたのも Y's の方の紹介がなければありえなかったことで、本当にたくさんの人に感謝申し上げたいです。推薦してくださった川越クラブさんにもこのような機会を与えて下さり感謝したいです。

ありがとうございました。

6. キングス・ガーデンの現状とサポートについて

(川越ワイズメンズクラブ会員、川越キングス・ガーデン職員 山本 剛史郎さんからの川越クラブ 10 月例会での報告)

- ・10 月 12 日(金)の台風 19 号による浸水被害では、140cm 位の深さまで浸水した。
- ・3 日後の火曜日によりやく水が引き、家財などの片付けが始まった。
- ・入所者は他の特養などに分散して収容している。幸い人的被害はなかった。
- ・一番の課題は、分散入所しているお年寄りの衣類が足りないこと。市役所やユニクロと連携して対応を考えている。
- ・ボランティア受付は電話集中のためやむなくクローズしている。市内在住等の条件がある。
- ・復旧作業は、業者の力が必要。募金が一番受け入れやすい。

7. 各大会報告

1) スリランカ地域大会

6 月 22 日(土)コロンボ

報告者 利根川恵子・太郎



スリランカ地域大会での役員就任式

2) アジア太平洋地域大会

7月19日(金)～21日(日)仙台

報告者 吉田公代、山崎純子、利根川恵子

3) 韓国地域大会

8月23日(金)～25日(日)韓国昌源

報告者 利根川恵子



キム・サンチュ韓国地域会長夫妻と
アジア太平洋地域からの参加者

8. 連絡・報告

1) 「チャリティーラン」

- ① 参加予定チーム数・予定者
川越Y'sとして2チーム参加
山本さん3名、生川さん(未定)
ボランティアで利根川2名
- ② 協賛賞品
紅あか5kg×2箱
十勝野菜1箱

2) 十勝野菜(カボチャ、ジャガイモ、タマネギ)

- ① チャリティーランの賞品 1箱
- ② わいわい食堂の食材 1箱
- ③ 本日チャリティーで購入 2箱

3) 11月30日合同例会について

- ・プログラムの確認
- ・来賓/参加者の確認

4) バス旅行について

- ・富岡製糸工場方面で、他の旅行会社にも見積もってもらう。
- ・子どもたちはこんにやく作りなどの体験を喜ぶのではないかな。

5) 紅あかファンドについて

- ① 5kgは送料込みで3070円
10kgは送料込みで5070円
- ② 注文チラシを作成して、申込みを開始する。

6) 11月16日(土)の評議会

- ・吉野会長が報告書を作成
- ・利根川太郎が参加

9. 次回例会

11月30日(土)15:00～18:00

レストラン「エルミタージュ」

・川越クラブが主催する埼玉3クラブ合同例会になります。

フードバンクにかかわってこられた黒田和代さんの卓話を伺います。また子ども食堂を主宰する東裕二さんからもお話を伺います。川越クラブも今年から子ども食堂の取り組みを始めました。タイムリーな企画ですので、多くの皆様にご参加いただきますようお願い申し上げます。

[わいわい食堂打ち合わせ連絡](#)

利根川 恵子

1. わいわい食堂打ち合わせ

11月21日(木)17:30

川越YMCA

2. 次回わいわい食堂開催

11月25日(月)15:30～(スタッフ集合14:30)

川越YMCA

[YMCA 報告](#)

河合 今日子

台風19号は各地に被害をもたらしましたが、報道等でご存知のとおり、ここ川越でも河川が氾濫し、いまだ大きな被害の影響が残っている地域があります。

川越センターがある菅原町では、河川氾濫による浸水等の影響はありませんでしたが、センターの老朽化による雨漏りと1階放課後等デイサービス指導室の浸水がありました。現在、管理会社に確認中です。

<台風19号・15号被災地支援について>

台風19号被害における対応について小谷総主事から配信がありましたので共有させていただきます。

・全国のYMCA協働として、東日本地区のYMCAを中心に「こどもの支援(リフレッシュキャンプ)」を今後実施していく。そのための募金活動を全国規模で実施していく。

・あわせて、泥だし等のワークについては、YMCAと

して企画・実施するのではなく、他団体（各社協や災害支援ネットワークなど）の活動に参加／支援をしていく。（埼玉県をはじめ被災経験の少ない地域では、市や社協などによるボランティアの受け入れに対する対応について、未経験や不安による混乱もあるため、受付窓口配慮し現地の状況に沿いながら支援を行なっていきます）

第1報は、以下をご覧ください。詳細は、11月ブリテンにてお知らせします。

http://www.saitamaymca.org/information/pdf/2019/20190923ymca_festival.pdf



＊市社協のボランティアに向かうスタッフ

<被災地支援募金へのご協力をお願いいたします>

10月17日より川越センターに募金箱を設置しています。

皆様のご支援をお願いいたします。

<埼玉 YMCA 冬のプログラムのご案内>

2019年度冬のプログラムガイドが完成しました。今年の冬も寒さに負けず、YMCAで元気に過ごしましょう。詳細は、以下の通りです。

<http://www.saitamaymca.org/information/pdf/2019/20191023winterguide.pdf>

<埼玉 YMCA フェスティバルを開催します>

11月23日（土・祝）11時～15時半まで所沢センターにて、埼玉 YMCA フェスティバル・会員大会を開催します。川越センターの中高生は、昨年好評だった「川越おめん製作所」を出店します。ご家族、お知り合いをお誘いの上、ぜひお越しください。

なお、フェスティバルの収益金は、ボランティアリーダー育成や地域貢献活動に使用させていただきます。